

## 海岸林再生プロジェクト 10 カ年計画 活動報告（要旨）

【2011年～2015年度実績総括】 7つのシステムを確立した。

1. 大規模官民協働の協定締結（約100ha）
2. 大規模苗木供給体制（宮城県必要本数600万本中、50万本生産）
3. 地元に雇用創出（2014年：1,402人、2015年：1,400人）
4. 効率的な一貫施業の実施体制（育苗～植栽～育林）
5. 低コスト林業（自家生産の育苗は、購入より低コスト）
6. 市民参加の実現（年間ボラ1,600人、視察年500人、報告会年5,000人）
7. 民間活力・民間資金導入（寄附金目標額10億円）

- 協定締結面積 94.74ha  
内訳：国有林：2.91ha、県有・市有林：89.98ha、内陸防風林共有林：1.85ha  
\*2016年度に内陸防風林市有林1.87haへの支援追加など、今後も増える見通し。
- 植栽完了面積 25.49ha  
\*初播種は2012年3月。2年の育苗を経て、植栽開始は2014年4月。  
\*2016年度も前年同様、約10ha、50,000本植栽予定
- 植栽完了本数 131,416本  
\*宮城県産マツノザイセンチュウ抵抗性クロマツ、宮城県産精英樹クロマツ等  
\*植栽直後活着率は、2014年度：98.4%、2015年度：99.1%
- 総雇用数 3,647人（8時間/日人）  
\*育苗、植栽、施肥、下刈、除伐、各種工事で、2033年までに約11,400人の雇用計画
- 現場ボランティア・視察受け入れ人数 6,400人（うち外国人55カ国221人）  
うちボランティア参加人数 3,318人（2013年～）
- 活動報告会・講演会参加者 23,731人（18県137回実施）
- 海岸林HP 活動報告blog更新回数 1,120回
- 写真パネル展開催回数 57回（株ニコン支援）
- 国内メディア掲載回数 193回（新聞・TV・ラジオ等）  
海外メディア掲載回数 62回（32カ国）
- 寄付金・民間助成金総額 405,418,335円（2016年1月末現在）  
\*2021年～2033年に活用する育林等の費用として、現在126,139,115円の積立をすでに行っており、目標として最低2億円の積立を計画している。

\*上記は、2016年3月8日現在の速報値です。

## 1 平成 23 年度の事業

公益財団法人オイスカは、壊滅的被害を被った海岸林の再生に関し、行政が立案する復興計画そのものに協力したいとして、平成 23 年 3 月 17 日に、皆川芳嗣林野庁長官（当時）に申し出を行い、4 月 21 日に航空調査、5 月 24 日に国・県・森林組合・種苗組合との初協議、同日、名取市北釜地区住民との初協議、陸上踏査を開始しました。

具体的には、海岸林の再生に自ら参画したいと希望した名取市の被災農家とともに育苗を行い、市内海岸林約 100ha に必要な苗木の提供、植林、下刈り等保育までを行うこととしており、平成 23 年から 10 ヶ年の計画で、クロマツ苗木の不足対策と雇用対策を兼ねて、育苗～植栽～育林の「一貫施業」を目指す計画を立案しました。そして、クロマツ苗木生産の実施体制を整えるべく、林業種苗法に基づき、「山林種苗生産事業者登録講習会」開催を県に働きかけ、代表 11 名が受講、宮城県農林種苗農業協同組合より加盟承認を受け、県への登録を経て、無事に種子の払い下げを受けました。平成 24 年 2 月に「名取市海岸林再生の会」（被災農家 32 名）を立ち上げ、3 月 30 日初めての播種に至り、2 年後の植栽に向けて育苗がスタートしました。

## 2 平成 24 年度の事業

初播種から 28 日後に発芽確認。年に 2 回の県生育調査でも最高水準を保った。

### ① クロマツ種子の播種量（畑直播）

抵抗性クロマツ	0.5kg (22,500 粒)	*マツノザイセンチュウ抵抗性
普通クロマツ	1.5kg (75,000 粒)	

---

計 2.0kg (97,500 粒) 発芽率 95%

### ② 床替え（稚苗移植） 抵抗性クロマツ 1,000 本

### ③ 総雇用数 187 人

## 3 平成 25 年度の事業

播種後 1 年経った苗を床替えするとともに、新たな播種を行う。県の生育調査でも最高水準を維持。平成 25 年 9 月、林野庁「民有地直轄治山事業」による海岸林植栽基盤造成工事が、名取市では他地区に先駆け大規模に完成した。同月、市議会にて海岸林・内陸防風林の再生について討議され、「オイスカに託したい」との地元の意向が改めて明確にされ、平成 26 年 2 月 13 日、宮城県・名取市・再生の会・オイスカは名取市内「県有林・市有林・共有林・私有林」89.98ha、および「国有林」2.91ha に関する国・オイスカとの整備協定を締結し、市内合計 92.89ha の海岸林再生に関する行政手続きが整いました。

### ① クロマツ種子の播種量

抵抗性クロマツ	0.5kg (22,500 粒)	コンテナ播種
普通クロマツ	1.0kg (50,000 粒)	

---

計 1.5kg (72,500 粒) 発芽率 90%

- ② 床替え  
 抵抗性クロマツ 20,000 本  
 普通クロマツ 70,000 本  
計 90,000 本
- ③ 総雇用量 658 人

#### 4 平成 26 年度の事業

宮城中央森林組合作業班・再生の会・諸関係者への造林講習会を経て、4月28日より植栽を開始。連休を挟み5月30日に完了。被災地名取市民・宮城県民を最優先に第1回植樹祭を開催し、350名が1ha5,000本を植栽。その後、ボランティア受け入れを本格的に開始。雇用数・ボランティア来訪数ともに、大規模事業として展開した。その甲斐と好天に恵まれ、申し分のない活着率・生育率を維持した。好成績は低コストにつながり、育苗部門・造林部門ともに大事業ながら、極めて順調に展開した。

- ①播種量 下記全てコンテナ播種。今年度からは露地直播きは行わない。

抵抗性クロマツ 0.65kg (29,250 粒)  
 普通クロマツ 0.50kg (25,000 粒)  
抵抗性アカマツ 0.35kg (33,000 粒) (1 穴 2 粒播種)  
 計 1.5kg (87,250 粒) 11 月県調査の生育率 92.3%

- ②床替え

普通クロマツ 45,000 本  
 抵抗性アカマツ 4,000 本 計 49,000 本

- ③平成 26 年に自家生産で出荷した苗木数 (基準を満たした苗木)

普通クロマツ普通苗 35,750 本  
 抵抗性クロマツ普通苗 9,000 本  
 広葉樹 (クリ・コナラ・ヤマザクラ・ケヤキ) 432 本  
計 45,182 本

- ④平成 26 年度の植栽・施肥面積

国有林 2,77ha  
 市有林 12.90ha (秋植え 0.70ha)

計 15,67ha 80,182 本 (うち秋植え 3,500 本)

春植え活着率 98.4%  
 補植 (秋) 1,500 本  
 総雇用量 (育苗・植栽・保育) 1,402 人

【更新】 2016,3,8 名取市海岸林再生の会／公益財団法人オイスカ

⑤その他の平成 26 年度実績（カッコ内震災後 4 年間累計）

ボランティア（育苗・植栽・保育）	1,365 人
視察	576 人（ボランティア視察計 6,122 人）
活動報告会・講演会	32 回・4,692 人（105 回・18,841 人）
写真展（協力：株ニコン）	14 回（52 回）
国内メディア紹介・掲載	40 回（155 回）
海外向けメディア紹介	2 回（54 カ国 61 回）

## 5 平成 27 年度の事業実績

### ① 植栽面積

海岸林	7.90ha（市有林）	*春植え
	0.30ha（市有林）	*秋植え
内陸防風林	<u>1.62ha</u> （共有林）	⇒今年度追加協定
合計	9.82ha	

\*追加協定により、当プロジェクトの整備協定総面積は **94.74ha** に増えた。

### ② 植栽本数（平成 27 年に自家生産で出荷した苗木数）\*生育率 99%

精英樹クロマツ普通苗	23,770 本	
抵抗性クロマツコンテナ苗	20,760 本	
抵抗性アカマツコンテナ苗	3,750 本	*岩手県産、内陸防風林秋季補植
抵抗性アカマツ普通苗	2,650 本	*岩手県産 内陸防風林用
<u>広葉樹</u>	<u>304 本</u>	*ウワミズザクラ、オオシマザクラ、ケヤキ
合計	51,234 本	

### ③ 播種量 クロマツ 1.68kg（89,856 粒） \*すべてコンテナ播種。発芽率 93%

・宮城県産 抵抗性クロマツ	0.65kg（30,072 粒）
・宮城県石巻市網地島産 精英樹クロマツ	0.14kg（9,432 粒）
・宮城県産 精英樹クロマツ	0.25kg（10,344 粒）
・香川県産 抵抗性クロマツ	0.12kg（6,528 粒）
・岡山県産 抵抗性クロマツ	0.57kg（33,480 粒）
広葉樹（気仙沼産ツバキ）	3kg（2,490 粒）*内陸防風林用

### ④ 床替え

精英樹クロマツ	4,720 本
抵抗性クロマツ	3,100 本
<u>挿し木抵抗性クロマツ</u>	<u>1,000 本</u>
合計	9,188 本

【更新】2016,3,8 名取市海岸林再生の会／公益財団法人オイスカ

⑤ 2年生コンテナ苗

抵抗性クロマツ	26,318本
精英樹クロマツ	19,855本
<u>抵抗性アカマツ</u>	<u>16,374本</u>
合計	62,547本

\*4年連続、県内得苗率トップ。根元径が太く抜群の質を誇る。

\*2015年度全国山林種苗品評会に宮城県代表で出品。

⑥ 総雇用量（今年度見込み）	1,400人	*育苗・植栽・保育・階段設置工など
ボランティア	1,691人	*8時間/日 管理面積26ha
視察	371人	*うち海外から 累計55カ国208人
活動報告会・講演会	26回・4,694人	
写真展（協力：(株)ニコン）	4回	
国内メディア紹介・掲載	11回	
海外向けメディア紹介	2回	*2015年12月末現在

## 6 平成28年度以降の計画

① 植栽面積

海岸林（市有林）	9.0ha
<u>内陸防風林（市有林）</u>	<u>1.0ha</u>
合計	10.0ha

② 植栽本数 50,000本

③ 播種量 2.0kg 100,000粒

④ 2年生コンテナ苗	抵抗性クロマツ	72,000本
	<u>精英樹クロマツ</u>	<u>9,400本</u>
	合計	81,400本

⑤ 総雇用量 1,400人

平成29年度は14haの植栽見込み。

毎年内陸防風林と合わせ10ha前後の植栽で、平成32年度（2020年）までに約100haの植栽を終了し、名取市海岸林再生の会は「仮称：名取市海岸林を守る会」に名称変更を検討。全国の優良事例を参考に、同会を中心にした官民協働体制、プロ及びボランティアをフル活用した長期管理体制として再編する。

10億円のうち2億円以上（目標）の積立金を活用し、2033年まで下刈り・つる切り・除伐を実施するまでの費用、「名取市海岸林を守る会」の運営費用とする。

なお、植栽20年後以降（2034年頃）からは本数調整伐を行い、内陸側には広葉樹の自然な侵入を図る。